

平成29年度図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- 対応が困難な項目
- ★ その他、上記以外のもの

	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
1	図書館に子どもが居られる場所を作ってほしい。子どもが騒いでも気兼ねなく居られるように、児童コーナーに防音設備を整えてほしい。学校図書館を開放しても良いのでは。	子どもやその保護者の方が気兼ねなく図書館をご利用いただける環境を整備することは、重要であると考えていますが、設備面での対応をすぐに行うことは困難な状況です。防音設備の整備を含めた利用環境の向上については、施設の大規模改修の際に検討します。 学校図書館の開放については、平成29年度現在、区立小学校65校のうち42校で実施しています。詳しくは、下記の練馬区ホームページをご覧ください。 http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/shogaigakushu/gakkokaiho/kaiho.htm	□ ◎	練馬
2	練馬区立図書館が実施している学校図書館への支援日数は100日だが、学校図書館開館日全部に司書を配置してほしい。	練馬区は、区立小中学校が計99校と学校数が多いため、学校図書館の開館日全てに人員を配置することは、区の財政状況や人員の確保等の課題があり、困難な状況です。 そのため、各学校と協議の上、授業等に支障がないように設定しています。	—	練馬
3	閉架にある本のリストをプリントアウトしてほしいと言っても、どこの図書館でもやってもらえない。閉架の本で読みたいものを自分で選びたいが、それもできない。文科省ではボランティアサポーターをつけなさいと書いているがそれもやらない。どうしてできないのか。	閉架の資料については、練馬区立図書館のホームページや図書館内のOPAC端末で検索することができますので、ご利用ください。なお、大量の閉架資料について、リストをプリントアウトすることは困難です。	—	石神井
4	若い世代に向けた情報発信の方法として、ツイッターなどのSNSを活用してはどうか。	図書館ホームページを利用したSNSの展開を検討します。	□	大泉
5	図書館ホームページが分かりにくい。検索システムが使いづらい。	平成31年1月に再構築予定の新システムの課題とさせていただきます。	□	大泉

6	図書館のホームページに魅力を感じない。予約をしたり、休館日を調べる程度である。各館のオリジナルのページの作成や魅力的なものにしてほしい。	図書館システムの更新に合わせて、より魅力的なホームページとするよう努めます。各館のオリジナルページの作成等の具体的な内容については、平成31年1月に再構築予定の新システムの課題とさせていただきます。	<input type="checkbox"/>	南田中
7	こういった形式の懇談会を年に数回開催してほしい。	例年、秋の読書週間に合わせて懇談会を開催しています。それ以外の時期の開催については各館で検討します。	<input type="checkbox"/>	大泉
8	今回の利用者懇談会の日程が重なっているため、他の図書館の懇談会にも出席したいができない。	例年、秋の読書週間に合わせて懇談会を開催しています。他の時期の開催については各館で検討します。	<input type="checkbox"/>	貫井
9	各館の懇談会の会議録が出なくなったが、これは各館長の権限で出せるのか。	光が丘を除く各館分は意見の概要を掲載しています。会議録については、来年度から全館分を図書館ホームページに掲載する予定です。	★	貫井
10	貸出期限を忘れてしまうことがあるので、他の自治体で使用しているリライカードのようなものがあると良い。	練馬区立図書館は利用者数が多いことから、相当な費用が発生するため、費用対効果の観点から現在のところ採用する予定はありません。	—	関町
11	希望者に貸出資料をレシートで印刷しているのであれば、そのサービスについて大々的に周知してほしい。	貸出票の印刷を多くの方がご利用になると、カウンターが混雑してしまうため、積極的に周知する考えは現在のところありません。必要な場合にはカウンターにお申し付けください。	—	関町
12	オンラインデータベース用端末のプリンタがA4用紙専用だが、A3用紙も対応可能にしてほしい。	平成31年1月に予定している新システムの再構築の際に検討します。	<input type="checkbox"/>	関町
13	WEB予約をする際、予約入力後に個人ページへ移動したい場合にトップページまで戻る必要があり、不便である。	予約入力後、予約完了画面の下の『利用者のページへ』を押すと個人ページに戻ることができます。	◎	関町
14	以前の自動貸出機では貸出冊数の確認ができたが、新しい貸出機ではできないので不便である。	平成31年1月に予定している新システムの再構築の際に検討します。ただし、採用するシステムによってはご希望に添えない場合があります。	<input type="checkbox"/>	関町

15	練馬区中央図書館設立委員会を官民合同プロジェクトで開始してほしい。 「（仮称）地域独立行政法人としての図書館」を要望する。	ご意見として承ります。	★	貫井
16	練馬区の図書館は、全体的に対面朗読室の利用など障害者へのアピールが足りない。	障害者サービスについては、適宜、機会をとらえて積極的に広報してまいります。	□	大泉
17	貫井図書館の対面朗読室によむべえ（音声拡大読書器）やプレクストーク（デイジー録音再生機）を備えてほしい。また対面朗読室にタブレット端末を置いて、電子書籍や雑誌を読めるようにしてほしい。	よむべえ（音声拡大読書器）とプレクストーク（デイジー録音再生機）の設置については、相当程度費用がかかるため、ご意見として承ります。タブレット端末の設置については、電子書籍を導入する際に検討します。	□	貫井
18	貫井図書館を美術館とは独立した施設として別途建築をはかってもらいたい。	貫井図書館と美術館の併設施設は、建築後30年以上が経過し、今後大規模改修の予定がありますが、図書館と美術館とを独立した施設とする計画はありません。	—	貫井
19	新たな対面朗読ボランティアを養成してほしい。また貫井図書館に対面朗読室を増室してほしいと嘆願したが、実現されると聞いている。よろしくお願いする。	音訳ボランティアについては、初級・中級講習会を1年ごとに開催しています。 貫井図書館には対面朗読が可能なスペースを平成29年12月に増設しました。	◎	貫井
20	対面朗読を含めた障害者サービスについて、各館で対応できるようにしてほしい。 光が丘図書館の障害者サービスの担当者と連絡を取りにくいので、連絡を取れるようにしてほしい。	障害者サービスについては、個人情報保護の観点から光が丘図書館で一括して管理しています。 障害者サービスの担当と連絡を取りにくい件については事務手順を見直し、改善します。	— ○	貫井
21	2年間利用がないと、利用登録のデータが消去されるがなぜか。	利用登録の要件である、在住・在学・在勤の確認のために1～3年ごとに利用登録の更新をお願いしたいところですが、利用者のお手数を考慮して、2年間利用していない方を有効期間切れとしています。	★	貫井

22	<p>練馬区は図書館から学校図書館支援員を派遣しているが、本来は教育委員会直属の学校司書を置くべきなのではないか。子供たちがいつ図書室に行っても司書がいるという環境が望ましいと思う。</p>	<p>学校司書の配置については、学校図書館法の一部改正や文部科学省が策定した学校図書館ガイドラインの趣旨を踏まえ、学校図書館への人的支援のあり方を検討していきます。</p> <p>練馬区は、区立小中学校が計99校と学校数が多いため、学校図書館の開館日全てに人員を配置することは、区の財政状況や人員の確保等の課題があり、困難な状況です。</p>	—	小竹
23	<p>団体貸出しの場合、学校に対しては弁償免除があるが、一般団体に対しては弁償免除はない。高齢者施設など特別な施設に貸出しをする場合は、規制緩和ではないが利用しやすいよう配慮ができないものか。</p>	<p>高齢者施設等における資料の紛失・汚損については、例えば、認知症の施設利用者によるもの等やむを得ない事情があると認められる場合には、弁償を免除できることがありますので、ご相談ください。</p>	◎	石神井
24	<p>布の絵本を作成するために団体貸出を利用しているが、貸出期間をあと1か月長くしてほしい。</p>	<p>団体によって貸出期間を個別に設定することは困難です。大変申し訳ありませんが、改めて貸出手続きをお願いします。</p>	—	小竹
25	<p>開館当初から続いている小竹図書館のスローガンが、今の時代にマッチしていない。一般公募して新たに作りかえたらどうか。</p>	<p>スローガンについては、その策定の経緯や目的が各館によって様々であり、開館当初のものがそのまま引き継がれている場合もあります。開館当初と比べて、図書館を取り巻く状況は変化し、運営形態も多様化していることから、スローガンの必要性も含めたそのあり方について、今後検討します。</p>	□	小竹
26	<p>予約多数本に予約を入れると、貸出まで予約の点数を圧迫する。予約多数本以外の資料を無理なく予約するために、貸出冊数（10冊）より多くの冊数（15～20冊）を予約できるようにしてほしい。</p>	<p>貸出冊数については、2週間という貸出期間とのバランスから、現行の10冊が適当であると考えます。貸出冊数を増やすことにより延滞件数が増加し、結果として利用者の皆様にご迷惑をおかけする可能性が高いと考えます。</p>	—	南大泉
27	<p>予約確保になった本について受取館を間違えて入力してしまい、変更できなかった。受取に行きにくい図書館の場合もある。変更に伴う移送等に要する日数を貸出期間から減じてほしいので変更できるようにしてほしい。</p>	<p>平成31年1月に再構築予定の新システムの課題とさせていただきますが、採用するシステムによってはご希望に添えない場合があります。</p>	—	南大泉
28	<p>新規登録時のパスワードを忘れてしまった。初期設定がランダムな数字だと思いたすことができない。初期設定は登録電話番号の下4桁などにしたいほうがよいと思う。</p>	<p>初期設定のパスワードは、ご自身で任意のパスワードに変更していただくことを前提に発行しています。初期設定のまま変更せずに利用する方が多いため、個人情報保護の観点から、容易に推測することができないランダムな数字を採用しています。</p>	—	南大泉

29	<p>自動音声の連絡を途中で切ったところ、肉声での電話がかかってきた。自動音声連絡という時点で連絡内容は推察できるので、最後まで聞かなくても「連絡済」の扱いにすることはできないのか。</p>	<p>自動音声の連絡については、連絡の趣旨や主な目的（予約にあつては置き期限、督促にあつては対象となる方のお名前）を確実に伝えるために、これらの内容までお聞きいただいた時点で連絡済みとしています。練馬区立図書館としましては、漏れなく確実にご連絡する責務がありますので、ご理解ください。</p>	—	南大泉
30	<p>学校図書館ボランティア育成事業を実施してほしい。</p>	<p>学校図書館ボランティアは各学校で行っているもので、図書館での対応は困難です。</p>	—	貫井
31	<p>学校図書館支援員、開放ボランティア、各図書館の選書担当で連携を取り、学校図書室の蔵書数や中身の充実など蔵書構築について話し合う機会を作してほしい。</p>	<p>学校図書館の運営については、各学校で学校図書館運営計画を策定し、計画に基づき蔵書の整備等を行っています。今後、学校が選書する際に関係者の意見を伺う機会がもてるよう検討します。</p>	□	春日町
32	<p>本の帯はどうしているのか。他の自治体では、裏表紙に貼っているところもある。その方が本を選ぶときの参考となり、よい取り組みだと思う。ぜひ検討してほしい。</p>	<p>図書館では、図書資料を購入した後、図書の劣化を防ぐフィルムやシールの貼付等の装備作業を行います。現在、この装備作業は事業者へ委託しています。</p> <p>装備作業の委託に当たり、練馬区立図書館では本の帯は販売促進の広告の一種と考え、貼付しない取扱いにしました。ただし資料の説明として必要と思われる場合は貼付しています。</p>	—	南田中